



# 猫を飼う際に



## 気を付けていただきたいこと

### 1 終生飼養しましょう

猫は、屋内できちんと飼えば10年以上生きます。経済的なことも考慮し、どんな状況になっても最後まで責任をもって面倒を見られるか家族などと話し合ってから飼いましょう。



### 2 屋内で飼養しましょう

猫を飼う際は、屋外に出さず屋内のみで飼養するようにしましょう。猫同士のけんかや交通事故などの危険もなくなります。爪研ぎの設置、立体的な移動や外を眺められる場所の確保など、環境を整えてあげれば、屋内のみで飼養できます。



### 3 所有者明示をしましょう

猫を飼う際は、万が一逃げたときに備え、迷子札やマイクロチップを装着しましょう。首輪を着ける場合は、首輪が引っかかった際に外れる安全首輪を選ぶと安心です。

### 4 避妊去勢手術を実施しましょう

猫は、繁殖力がたいへん高く、3～8匹の子猫を年2～4回生みます。生まれてくる命に責任が持てない場合には、メスは避妊手術、オスは去勢手術を実施しましょう。

避妊去勢手術を実施することにより、穏やかな性格になり、特にオスは尿スプレーが減り、独特の臭いが軽減されます。



### 5 健康管理を行いましょ

ウイルスなどによる感染症や寄生虫などの病気予防に努め、異常が見つかったら、早めに動物病院に相談しましょう。

猫は、人間とは必要とする栄養素が異なりますので、栄養面で安心できるキャットフードを与えるようにしましょう。



### 6 しつけを行いましょ

猫を飼う際は、トイレのしつけをしましょう。猫は、自分のふん尿を一定の場所に埋める習性がありますので、部屋の中の静かな落ち着いた場所に市販のトイレ砂やペットシートなどを入れたトイレを準備しましょう。

### 7 猫を捨てない

飼い猫や生まれた子猫は絶対に捨てないでください。捨てられた猫が幸せに生きられる場所は殆どなく、悲惨な生活を送ることになります。

どうしても飼えなくなった場合は、新しい飼い主を探しましょう。



# 飼う前に考える10のポイント

全国で年間に約23万頭の犬猫が殺処分されています。

「動物を飼う」ということは、一生、責任を持ってその動物の面倒を見るということです。

飼ってしまったから「こんなはずじゃなかった」とあわてても間に合いません。

飼う前に、次の10のポイントについて考えてみましょう。



- 1 住まいはペットを飼える住居ですか？  
転居や転勤の予定はありませんか？**
- 2 飼いたいペットは、あなたのライフスタイルに合っていますか？**
- 3 家族全員が動物を飼うことに賛成していますか？**
- 4 家族に動物アレルギーの方がいませんか？**
- 5 毎日欠かさず世話に時間と手間をかけられますか？**
- 6 あなたの体力で世話ができるペットですか？**
- 7 近隣に迷惑をかけないように配慮できますか？**
- 8 一生面倒を見るために必要な費用を想定していますか？**
- 9 生涯にわたる計画をたててみましたか？**
- 10 万一、飼えなくなったときのことを考えていますか？**

飼わないのも動物愛護！

心配な項目がひとつでもあれば、よく考えてからにしてみてもいいでしょうか？